

PT ながの NEWS

No. 84

2023
8
August



目次

・ 巻頭言 副会長 佐久総合病院 林 有理	2
・ トピックス 長野県理学療法士連盟	3
・ こども福祉部情報	5
・ 学術の広場	6
・ おすすめ!の一冊 「発達障害児の新しい療育」	7
・ 北から南から 下伊那厚生病院	8
・ 徒然なるままに	9
・ 賛助会員広告	10



NEWS of
the NAGANO PHYSICAL THERAPY
ASSOCIATION

PT **ながの**
NEWS

No. **84**

巻頭言



副会長
佐久総合病院 林 有理

私が入職する頃、PTは金の卵と言われていました。実際、就職試験の際管理部の方に必ず受かるので試験の必要がないと思われたのか、今日試験受けるんですか？と聞かれた事を覚えています。しかし、皆さんもご存じの通り養成校が増えPT新卒者は1万人を超え、徐々に充足から過剰と言われるようになってきました。最近では、そういった背景もあり、職域堅持・拡大、身分保障が重要、政治活動が大事だと耳にすることも多くなっていると思います。恥ずかしながら、私も政治力が大事といわれてそうよね、と思いながらも今一つピンとこない、敬遠しがちでした。実際に士会役員活動を通して、協会ですべての具体的などのような事を行っているかを知る機会を得、国への要望策を届けるために活動している部分を知ることができました。国へ声を届けるためには国会議員の存在が必要です。2023年1月にPTの田中まさし先生が参議院議員に繰り上げ当選を果たしました。先日その田中先生が事務局次長に就任された、リハビリテーションを考える議員連盟総会に参加させていただきました。国会議員、PT・OT・ST含めて256名と大勢の参加があり、各協会長から現状と要望が出されました。ここ20年で給与水準は下がり、他医療職と比較してもかなり伸び率は低く、若い世代で離職率も高くなっているということでした。なんとなくは感じていてもしっかりと表やグラフにされるとガーンという感じでした。これには議員の皆さんも驚いており、議連として処遇改善をしっかりと対応しないとイケないと言われていました。また、議員さんからこれからますます理学療法士の重要性が大きくなる、予防分野での活躍が期待される、リハビリのおかげで日常生活を取り戻すことができたなどの発言があり、これまでの皆さんの活躍によりリハビリテーションの重要性については周知されているのだなということを肌で感じることができました。あらためてPTの質の向上と身分保障活動・政治活動の両面が大事だなと感じました。

微力ながら、今後も士会活動を頑張っていきたいと思います。

今号では「トピックス」として、長野県理学療法士連盟について深町会長よりお言葉をいただきました。

理学療法士の政治・選挙活動が益々必要となっています!!

長野県理学療法士連盟 会長
深町 秀彦



我々理学療法士は、国民の保健医療福祉の向上に貢献するべく業務を行っています。昭和40年に「理学療法士・作業療法士法」が施行され、これまで半世紀以上にわたり、この業を全うして参りました。このことは、広く国民の皆様にご理解いただき、社会的にも高い評価をいただけていると自負しています。近年、理学療法士が関わる分野は、医療、介護等公的保険に関わる領域から、健康増進、介護予防、スポーツサポート（オリンピック、パラリンピック他各種競技大会での選手サポート）、公的保険外でのパーソナルサポート、科学・社会的知見を探る研究活動、各種治療・福祉機器の開発といった多岐にわたる領域に拡大されてきました。しかし、このような発展の歴史をたどれたのは、決して理学療法士の努力だけでなし得たものではありません。社会保障行政をはじめとする様々な法律によって、我々の業務は保障され守られてもいますし、一定の規制も掛けられています。理学療法業務が今後拡大されるのか、縮小されるのかは国の政策や法律といった『政治』に大きく左右されます。

それでは、この政治に我々の願いを反映させるための手段は何でしょうか。それは、我々の願いを代弁してくれる国会議員を多く国政に送り出すことです。そのための政治活動と選挙活動が重要となってきます。実際、これまでに、理学療法士の身分処遇や業務範囲の後退といった逆風となる情勢に見舞われた際、我々と共同していただける国会議員の後押しで、これらの難題をはねのけてきた経緯があります。そして、理学療法士が現在抱える社会的課題として、以下のような点が上げられています。年間1万人を超える新卒者の養成は、

理学療法士の参議院議員 田中昌史 氏
前参議院議員 小川かつみ 氏



(写真1)

需要と供給バランスを既に逆転していますし、「2040年問題」とされる高齢者人口減も始まれば、余剰理学療法士が溢れ出します。医療関係職種の年間賃金の比較でも伸び率の停滞、下降傾向が如実に示されています。このことを是非ご理解ください。

理学療法士で現参議院議員の田中まさし氏、前参議院議員の小川かつみ氏（写真1）が培ってきた政治家同士の横の連携によって「リハビリテーションを考える議員連盟」が組織化されています。政権与党自由民主党の100名を超える国会議員によって構成され、現財務大臣の鈴木俊一氏が会長を務められています（長野県1区選出の若林健太氏にも参画いただいています）（写真2）。この上ない強力な布陣を我々は創り上げてきました。厚生労働省内に令和4年「リハビリテーションに関する小委員会」が設置されたことにより、我々の要望を直接大臣に伝えることも可能となっています（写真3）。これからの将来、益々リハビリテーション、介護、福祉分野に関わる様々な課題の解決、理学療法士の社会的身分、処遇向上を実現していくことが強く望まれます。その為には、支援いただいている議員を常に国政の場に立たせ続けなくてはなりません。公益社団法人日本理学療法士協会も一般社団法人長野県理学療法士会も国に対する陳情、要請といった政治活動は法的に問題なく行えます。ただし、議員候補者を選挙に当選させるための選挙活動は、政治団体である日本理学療法士連盟、長野県理学療法士連盟にしか行えません。すなわち我々理学療法士の目指す世界は、協会、士会と共に連盟を加えた両輪の活動で、初めて現実のものとなるのです。日本の理学療法士も20万人を超える時代となり、就職口の確保が難しくなっていること、リストラ対象にされている方も出てきている現状は、解決しなければいけない喫緊の課題です。訪問リハビリステーション構想などを一例とする、新たな業務範囲の拡大を目指さなければなりません。

会員の皆様には、これまで述べてきたことをご理解いただき、理学療法士連盟の活動に是非関心を持っていただき、御支援をお願い致します。共に頑張りましょう。

リハビリテーションを考える議員連盟

自民党国会議員 158名が参画



(写真2)

厚生労働省 リハビリテーション小委員会による 厚生労働大臣への申し入れ

令和5年5月



(写真3)

こども福祉部情報

- * 今年度のこども福祉部による開催企画（予定）についてのお知らせ *
- * COVID-19 感染リスクを考慮して予定が変更になることをご承知おきください。

● 小児リハビリテーション研修会 ●

テーマ：「神経筋疾患・重症心身障害児（者）の非侵襲的呼吸ケア～急性期から在宅までの
気道クリアランス・嚥下障害と誤嚥性肺炎予防・姿勢管理のリハビリテーション～」

講師：三浦利彦先生（北海道医療センター 理学療法士）

日付については打ち合わせ中ではありますが、9月～12月に開催予定。

リハビリテーション職種対象に開催します。Web または対面で開催するのかは未定です。

● ながの こども療育用具・福祉機器展 ●

各業者様のご協力の下、昨年は、2年ぶりに、ながのこども療育用具・福祉機器展を現地にて開催することができました。同時に、ながのこども療育用具・福祉機器展 WEB 版も多くの方々に閲覧頂き、ありがとうございました。今年度も、2023年11月3日（木）に会場開催する予定でいます。WEB 版開催も行う予定です。

会場開催につきましては、感染拡大防止策を万全にとったうえで行いたいと思います。ただし、感染警戒レベルによっては、やむを得ず中止とする場合もあります。

ホームページは現在も公開されていますので興味のある方はご覧下さい。

ホームページアドレス

<https://hukushikiten.wixsite.com/naganokodomo>



● 長野県小児理学療法実態調査 ●

近年の医療体制や社会情勢の変化から、県内においても小児の受け入れ施設の増加、訪問リハビリテーションや放課後等デイサービスなど事業の多様化が見受けられる一方で、それらの情報をまとめたものが県内には存在せず、利用される方また医療従事者に対して様々な情報が届きにくい状況にあります。

そこで、**県内全施設対象**に長野県内の小児理学療法に関する実施状況調査を行わせていただきます。また、この調査後は小児リハビリテーションマップの作成を行い、親御さんや医療従事者の方々向けに施設情報をご紹介し上記の課題改善に役立てたいと考えております。

今後とも多くの方へ小児理学療法に関する情報をお届けできるように努めてまいりたいと思います。ご理解ご協力のほど宜しくお願い致します。

調査期間：令和5年6月1日～7月31日

対象：長野県内の理学療法実施施設

アンケート入力フォーム：

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdKs7EdgNzNjI9Qp5vfJ76XA5jC4MFOJzwUOWNqf4dE3S4Rrw/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0&usp=mail_form_link



1. 下肢荷重量測定の実状と課題

下肢荷重量測定は片麻痺患者や整形外科術後患者の歩行能力や日常生活動作能力と関連することが報告されている。一方、荷重量測定は先行研究を含め多くの病院において市販の体重計を用いて静止立位で測定していることが多く、動作時の荷重量は動作観察から推測している理学療法士は多いのではないだろうか。Vasarhelyi らは整形外科疾患により部分荷重練習を実施している患者の荷重練習時と平地歩行時の荷重量を測定したところ、歩行時の荷重量は荷重練習時の荷重量を超過していたことを報告しており¹⁾、外見から動作時の荷重量を正確に評価することは至難の技に思える。また床反力計を用いることで動作時荷重量も測定可能であるが、その価格は数百万円と高価であることから一般病院のリハビリテーション室に設置されていることは少ないのが現状である。

2. 新しい荷重測定器 GET'A[®]

これらの課題を解決するために、我々は長野県内の地元企業との医工連携により簡易かつ比較的安価に動作時の下肢荷重量を測定できる下駄型荷重測定器 GET'A[®]を開発した。GET'A[®]は靴を履いた状態で着用することができるため、立位のみならず、全ての ADL 動作において下肢荷重量を測定することができる。

GET'A[®]を臨床応用していくために、我々はまず健康成人を対象として、GET'A[®]の荷重量測定の信頼性を検討した。その結果、静止立位時荷重量はもちろん、歩行時荷重量においても検者内、検者間信頼性ととも信頼性は「優秀」と判定される ICC 0.9 以上であった²⁾。さらに我々は回復期リハビリテーション病棟に入院中の片麻痺患者を対象とし、従来の静止時最大荷重量測定と GET'A[®]を用いた歩行時荷重量測定に関して身体機能との関連を比較検討したところ、静止時荷重量と比較して歩行時最大荷重量はバランス能力や ADL 自立度などの動作能力と強い相関を認められた³⁾。従って我々は従来の荷重量測定よりも歩行時荷重量は動作能力の指標として有用であると考えている。実際に、未公開データのため詳細は明記できないが、我々の追加研究においても歩行時荷重量を用いた変数が片麻痺患者の歩行自立度や転倒歴との関連することが示唆されている。

当院ではこれまで動作観察に頼らざるを得なかった動作時の荷重量測定を GET'A[®]を用いて可視化することで新しい理学療法展開が可能となった。今後も更なる研究により ADL 動作の安全性や予後予測の検討に役立つ評価指標を模索して行きたい。



図 下駄型荷重測定器 GET'A[®]

参考文献

- 1) Vasarhelyi A. et al: Partial weight bearing after surgery for fractures of the lower extremity- is it achievable? Gait Posture. 2006. 23 (1), 99-105.
- 2) 戸崎精, 他: 新しい下肢荷重測定器の開発とその信頼性の検討. 第 51 回長野県理学療法学会, 飯田. 2022, 6, 18-19.
- 3) 戸崎精, 他: 片麻痺患者に対する下肢荷重測定器の開発と動作能力評価における有用性の検討. 第 59 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 横浜. 2022, 6, 23-25.

おすすめ！の一冊

会員の皆様のおすすめの書籍を紹介させていただきます。



タイトル：『発達障害児の新しい療育』

著 者：今川 忠男

出版社名：三輪書店

お子さんの理学療法は多くの病院で実施されるようになっていますが、「専門病院でないと難しい。」と思われる方は多いのではないのでしょうか？私自身も小児理学療法は難しいと思っていました（今でも思っていますが）。現在の職場に就職したての頃、研修会でお会いできた今川先生の書かれた小児理学療法の考え方を教えていただいた1冊をご紹介します。

この本はお子さんに関わるセラピストが、療育という考え方のもとお子さんやご家族に寄り添った理学療法のかかわり方について紹介されています。

第1章では療育の新しい流れ、第2章では早期療育の新しい流れ、第3章では療育の理論と技術の新しい流れ、第4章療育の実際、第5章療育活動・体制の今後の課題、として今では当たり前となっている「機能障害中心の療育から家族中心の療育へ」の流れを中心に、いかに成功体験に焦点を当て生活場面での必要な課題に対して関わっていくかが書かれています。

子供は大人のミニチュアでなく、その時々に必要な環境に対応し変化・適応していく。脳性麻痺を持ちながら年齢を重ねていく。これらの事に対応していくことで人生の質に対し関わりを持つことの必要性を教えてください。発達の意義や意味を考え生活全般を支えていく必要性を自分自身に問いかけることのできる本です。

お子さんの理学療法に関わる方にぜひ一度読んでいただきたい本です。

信濃医療福祉センター 丸山 愛

● 下伊那厚生病院



米山 敏喜

下伊那厚生病院は長野県厚生連最南端の医療機関です。現在は一般病床 75 床の病院ですが、その前身は 1986 年開設された 19 床の診療所でした。診療所が建つその前には農協が管理していた製糸工場が建っていたようで、当時を知るご高齢の方には製糸工場の跡地として馴染み深い場所となっています。

診療所の開設から 30 年以上経ちますが、地域の医療ニーズに応える形で事業を拡大してきました。併設する 36 床の介護医療院のほか訪問看護ステーションや通所リハビリなどの事業も展開しています。

リハビリテーション科は病棟や介護医療院でのリハビリのほか、通所リハビリ、訪問リハビリ、地域の介護予防教室など地域に密着した活動を展開しています。スタッフ数は理学療法士 14 名、作業療法士 8 名、言語聴覚士 3 名となりました。また、歯科衛生士 1 名も在籍しており言語聴覚士や病棟のスタッフとも連携しながら患者さんや利用者さんの口腔ケアにも力を入れています。

(写真左：理学療法室、写真右：作業療法室)



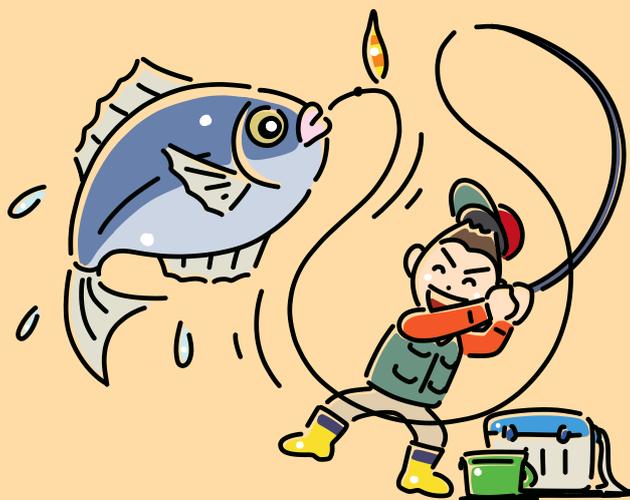
徒然なるままたまに…

鹿教湯病院
尾形 優介

突然ですが、皆様は何か熱中できるものはありますか。新型コロナウイルスの蔓延、物価上昇などネガティブな情報がメディアで取り上げられる中、昨年の11月は日本中を熱狂させる出来事がありました。それは4年に1度開催されるワールドカップ（以下：W杯）で、日本代表が格上のドイツ、スペインを破る素晴らしいパフォーマンスを見せてくれたことです。私も仕事に支障のない範囲でTV観戦していました。W杯期間中は職場全体が盛り上がりおり一体感がありました。

さて冒頭の問いですが、私はサッカー観戦が生活の一部となっています。国内の「鹿島アントラーズ」というチームが好きで、幼少期からよく家族で試合を見に行っていました。約3年間は現地観戦できていませんが、現在は動画配信サービスを活用しLIVE観戦しています。W杯で活躍した選手の大半は、国内（Jリーグ）で才能を開花し、海外のクラブチームに移籍し活躍しています。国内と海外ではサッカーのレベルに差はあると思いますが、チームを後押しするサポーターの熱量や臨場感は変わらないと思います。そのJリーグも2月から2023年シーズンが始まります。2026年のW杯の舞台で、あの感動を体験する選手が自分の応援するチームの選手だったら…

先日、政府は新型コロナウイルスの感染法上の分類を今年の5月より2類→5類に引き下げる方針を決定しました。「今年こそ現地観戦に行く!!」その思いで日々の診療に努めています。



賛助会員広告

車イス・介護用品・福祉機器
身体障害者用自動車運転装置

製作・販売・レンタル

Mitsui **マツイ商会(有)**



本社 〒390-0827 松本市出川2丁目19-6
☎ (0263) 87-2255・FAX (0263) 25-5577
長野営業所 〒381-2204 長野市真島町真島1286
☎ (026) 285-6070・FAX (026) 285-6139

福祉用具のレンタル・販売・住宅改修
CARE 介護ショップ **サクラケア**

千曲店 /TEL(026)273-4115 佐久店 /TEL(0267)64-5115
長野店 /TEL(026)223-4115 塩尻店 /TEL(0263)59-4115
長野北店 /TEL(026)252-4115 伊那店 /TEL(0265)77-4117
長野南店 /TEL(026)299-4115 松本店 /TEL(0263)78-6311
上田店 /TEL(0268)21-4115 上越店 /TEL(025)531-0553
中野店 /TEL(0269)24-6775

長野県内10店舗のネットワークで県内どこでも
安心のサービスをお届けします。
URL <http://www.sakura-care.co.jp/>

有限会社

アルテックブレース

愛知県一宮市猿海道2-11-9
〒491-0838
TEL 0586-23-6808
FAX 0586-23-6818

「ゲーム」×「リハビリ」で
“つらい”から“楽しい”へ

自分の体が
ゲームのコントローラー!

TANO



キッセイコムテック株式会社 公共・医療ソリューション事業部
TEL :0263-40-1122 E-mail : motion@comtec.kicnet.co.jp

長野県理学療法士会員の皆様の
一生の安心をお手伝いしたい……

「生きる」を創る。

Aflac

アフラックサービスショップ (株) エヌアイ
募集代理店

フリーダイヤル 0120-14-6465
〒388-8018 長野市篠ノ井西寺尾2436-1

有限会社

古瀬義肢製作所

松本市沢村2-2-30
〒390-0877
TEL 0263-33-4586
FAX 0263-33-3066

ウィールチェア中部株式会社

(H22.8 社名変更しました)

〒407-0003

山梨県韮崎市藤井町北下条 1140-11

TEL 0551-23-4368

FAX 0551-23-4369

運動計測なら
おまかせください



ワイヤレスで動作解析

8チャンネル小型無線モーションレコーダ

マイクロストーン株式会社

〒385-0007 長野県佐久市新子田 1934

URL : <http://www.microstone.co.jp>

土屋メディカル株式会社

長野店

〒381-2246

長野市丹波島2丁目10-12

TEL 026-283-7070

もっとたくさんの笑顔のために

地元で介護のお手伝い

福祉用具のレンタル・販売・住宅リフォーム

障害者福祉・介護食 etc.

有限会社

ケーアンドケーメディカル



長野県佐久市白田 1935

TEL0267-82-0239 FAX0267-82-0026

URL : <http://www.kk-medical.co.jp>

三方よし。

「賢く手を売らずに世間と」
近江商人の理念である「三方よし」の原点は
中村治政翁が採った「妹した産物あるをば、
そこは、たゞ念地國へ商内参り候て、
この産物への国の人一切の人々
心より着申され候う」と、自分の事は思わず、
皆人々を共に喜ばせたい、
私たちが日本メディカルリンクは、
この精神を現代に生かしてお客様、私たちが、
そして地域社会がよりよくなるよう、
医療機器の取り扱いに努めてまいります。



Seiei Alles Sante

中日本メディカルリンク株式会社

- | | | |
|--|---|---|
| ■本
社 7399-0873 松本市丸の内8-1
TEL:026338-8411 FAX:026338-8286 | ■長野事業所 7381-0203 長野市大田島3107-1
TEL:026521-1380 FAX:026521-1248 | ■松本営業所 7385-0011 松本市野原1-27-6
TEL:026768-8810 FAX:026768-8479 |
| ■安曇野事業所 7399-0204 安曇野市穂科高家2287-2
TEL:026537-4020 FAX:026537-4033 | ■伊那営業所 7398-4311 上伊那郡穂積村田島556-3
TEL:026576-2281 FAX:026576-1026 | ■厚田事業所 7399-0872 松本市丸の内8-1
TEL:026338-8089 FAX:026338-8387 |
| ■商品管理センター 7399-8204 安曇野市穂科高家2287-2
TEL:026537-2020 FAX:026537-13022 | ■伊豆事業所 7395-4004 長野市島名法務2151-1-1
TEL:026555-1160 FAX:026555-1161 | ■介護用品事業所 7399-0873 松本市丸の内8-1
TEL:026332-4124 FAX:026332-6115 |

アフラックサービスショップ
株式会社 エヌアイ

「生きる」を創る。

Aflac

長野店 フリーダイヤル 0120-14-6465
〒381-8018 長野市篠ノ井西寺尾2436-1

上田店 フリーダイヤル 0120-65-4427
〒386-0002 上田市住吉287-5

PHILIPS

気道クリアランスの
維持・向上をサポート

カフアシスト E70は、患者さんの咳の代用として、
気道クリアランスを維持するための
非侵襲的な排痰補助装置です。
Together, we make life better.

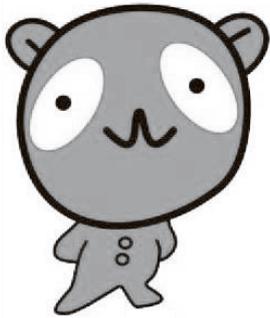
Innovation + you



気道粘痰除去装置 カフアシスト E70

製造販売業者 株式会社フィリップス・ジャパン
〒108-8507 東京都港区港南2-13-37フィリップスビル
睡眠・呼吸製品のお問い合わせは地域の事業所まで
松本支店 Tel.0263-29-3001

※本機は、5年保証です。製造番号確認番号: 2253002230320000。製造国: 中国。/ 保証期間: 製造日より
保証期間内での故障発生時の修理費用は、お客様が負担されます。Cough Assist E70は、その他の会社の製品とは互換性ありません。
©2012 Philips North America Inc.



義肢・装具・車椅子
リハビリ用品等
御用命下さい

長野営業所
松本市大字島立330-1
(TEL)0263-48-2061
本社
愛知県小牧市大字林
210番地の3
(TEL)0568-47-1701

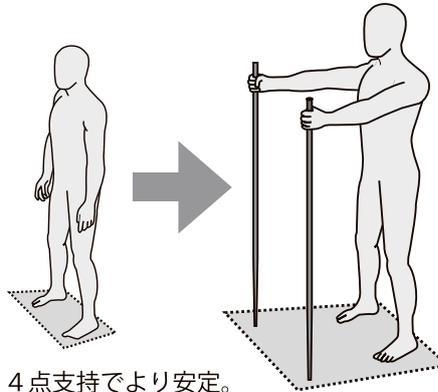
確かな知識と技術
温かいハートで
求められる製品をお届けします

株式会社松本義肢製作所
しあわせをかたちにする人と技術の会社です

新しいウォーキングスタイルの提案

あんしん2本杖

4点支持により転倒を予防、
これからの杖のカタチです。



4点支持でより安定。

あんしん2本杖 税込 ¥7,875(2本1組)
色：ブラウン、イエロー

お問合先

株式会社 **シナノ**
〒385-0022 長野県佐久市岩村田1104-1
TEL.0267-67-3321 FAX.0267-67-3326



原稿掲載依頼

「PT ながの NEWS」へ原稿の掲載をご希望される方は、広報部までご連絡をお願い致します。
メールアドレス：kouhou-pt@kakeyu-hp.com



発行 一般社団法人 長野県理学療法士会
代表 佐藤博之（飯田市立病院介護老人保健施設ゆうゆう）
編集 保高慎司（鹿教湯三才山リハビリテーションセンター）
藤原印刷株式会社
事務局 〒380-0836 長野県長野市南県町 685-2 長野県食糧会館 5F
（一社）長野県理学療法士会 事務局
TEL 026-234-3540 FAX 026-234-3550
ホームページアドレス <https://ptnagano.or.jp>